

日程第11 委員会提出議案第2号 平成29年度地方交付税の総額確保等を求める意見書について

○議長（中本正人君）日程第11 委員会提出議案第2号 平成29年度地方交付税の総額確保等を求める意見書について を議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。
総務委員会委員長 11番 田中君。

〔11番（田中博晃君）登壇〕

○11番（田中博晃君）それでは、意見書の朗読をもって説明にかえさせていただきます。

平成29年度地方交付税の総額確保を求める意見書。

政府は急速な少子高齢化、人口減少への対応、東京圏への過度の人口集中の是正など、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、まち・ひと・しごと創生法を制定し、以降5カ年の目標や施策の基本的方向、施策をまとめた、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、地方創生に総合的に取り組まれています。

それら取り組みと一体となり、本市では現在人口減少問題を主要課題と設定し、人や企業に選ばれるまち、持続可能なまちをめざすとともに、地域の活性化を踏まえた、まち・ひと・しごとの好循環の実現をめざした各種施策を展開しているところです。

しかしながら、このように高効率な歳出改革を進めてもなお、地方財政の状況は依然として厳しく、アベノミクスの取り組みによる成果は、地方ではまだまだ実感するには至っていません。

さらに、平成29年度の国の予算編成に関し

ては、総務省の概算要求における地方交付税総額が、地方公共団体への交付額ベースで前年度比マイナス7,410億円と4.4%減額しているにもかかわらず、財政制度等審議会の予算編成等に関する建議において、地方財政計画の歳出額及び地方交付税の抑制につながる内容が求められています。

このように、地方財政の縮減が実施されれば、地方創生地方分権施策の展開、さらには地方への行政サービスに深刻な影響を及ぼすことが懸念されます。

よって、国において、平成29年度の予算、地方財政計画の検討にあたって、下記事項に係る措置を講ぜられますよう要望します。

1、地方交付税については、地方財源の不均衡の是正、一定水準の保障といった機能が適切に発揮されるよう、その総額を確保すること。また、慢性的な巨額財政不足に鑑み、地方交付税法の規定に基づく法定率の引き上げ等の抜本的な見直しを行うこと。

2、一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2015」で示された、経済・財政再生計画を踏まえ、平成30年度までにおいて、地方の安定的な財政運営のため、前年度を上回る額を確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

提出先は、衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣です。

以上、議員各位のご賛同をよろしくお願いいたします。

○議長（中本正人君）説明が終わりました。

これより質疑を行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中本正人君）質疑がないようですので、質疑を終結いたします。

ただ今、議題となっております委員会提出議案第2号については、委員会に付託いたしません。

これより討論に入ります。

討論する方ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中本正人君）討論がないようですので、討論を終結いたします。

これより、委員会提出議案第2号 平成29年度地方交付税の総額確保等を求める意見書について を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中本正人君）ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

お諮りいたします。

本日の会議において、決議案1件並びに意見書案1件が議決されましたが、その字句、数字、その他整理を必要とするものについては、その整理を議長に委任されたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中本正人君）ご異議なしと認めます。

よって、そのように決しました。

○議長（中本正人君）この際、報告いたします。

総務委員長、経済建設委員長、文教厚生委員長及び議会運営委員長から、委員会において審査及び調査中の事件につき、会議規則第111条の規定により、お手元に配付いたしました申出書のとおり、閉会中の継続審査及び調査をいたしたい旨の申し出があります。

お諮りいたします。

委員長申し出のとおり、閉会中の継続審査及び調査に付することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中本正人君）ご異議なしと認めます。

よって、委員長申し出のとおり、それぞれ閉会中の継続審査及び調査に付することになりました。

○議長（中本正人君）以上で本日の日程は終わりました。

これにて本議会に付議された案件の審議は全部終了いたしました。

○議長（中本正人君）閉会にあたり、市長から発言の申し出がありますので、市長の発言を許します。

市長。

〔市長（平木哲朗君）登壇〕

○市長（平木哲朗君）12月市議会定例会の閉会にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

議員の皆さま方におかれましては、11月28日の開会以来、19日間にわたり、本会議並びに各常任委員会において、提出いたしました24件の議案などに対し、慎重にご審議をいただき、誠にありがとうございました。

審議の中で賜りましたご意見、ご指摘等につきましては、今後十分その意を踏まえ、市民の皆さまの信頼に応えることができるよう検討してまいります。

さて、今年には本市の名誉市民である前畑秀子さん、古川勝さんがオリンピックで金メダルを獲得して、それぞれ80周年、60周年を迎える記念すべき年にあたります。そこで、この2人の功績を顕彰し、その功績を後世に伝えていくために、12月18日、市民会館大ホールにて、記念講演会並びにシンポジウムを開

催いたします。

記念講演には、1972年のミュンヘンオリンピック女子100mバタフライ金メダルの西口まゆみさんから「オリンピックと私」と題した講演をいただきます。特別ゲストには、リオデジャネイロオリンピック女子200m平泳ぎに出場されました金藤理絵さんをお招きし、27歳11カ月で悲願の金メダルを獲得した苦労話などをお聞かせいただきたいと思っております。また、4度目のパラリンピックに出場を果たし、これからも現役を続けられる中村智太郎さんにもお越しいただき、リオデジャネイロパラリンピックの出場報告をいただく予定です。

シンポジウムでは、前畑秀子さんの研究者である、東海学園大学スポーツ健康学部講師の木村華織先生がコーディネーターとなり、「前畑秀子・古川勝とその時代」と題して、研究者、アスリート、市民など、さまざまな立場からお話を聞かせていただけると存じます。

また、開会前の午前11時20分からは、橋本高校の演劇部の皆さんが、「紀ノ川の少女」と題して、前畑秀子さんが名古屋市の椋山女学園に転校する決断をされた時期を描いたお芝居を講演していただきます。

議員各位におかれましては、ぜひご出席をいただきますようお願いいたします。

12月に入り寒さも厳しくなりましたが、この時期は空気が乾燥し、風も強く、火災が発

生しやすくなります。ここ数年、本市でも大きな火災が続いています。誠に残念ではありますが、本会議会期中にも死傷者が出る火災が発生いたしました。このような悲劇を繰り返さないためにも、さらに、火災防止に力を入れていかなければなりません。消防本部と消防団では、火災を未然に防ぐため、20日から年末火災特別警戒を実施し、市内各所を巡回していただきます。市民の大切な命と財産を守るため、昼夜を問わず活動されております消防団員の皆さまに対し、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

議員各位におかれましても、巡回される小団員の皆さんを見かけられましたら、激励と感謝のお声がけをいただきたいと思っております。

年の瀬を迎え、議員の皆さま方におかれましては、公私何かとお忙しい時期を迎えることと思いますが、健康には十分留意され、輝かしい平成29年の新春をお迎えいただきますよう心から祈念を申し上げます。

また、来年も橋本市の発展と市民の幸せのためにご尽力賜りますよう切にお願いを申し上げまして、12月市議会定例会の閉会にあたりましてのごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（中本正人君）これにて平成28年12月橋本市議会定例会を閉会いたします。

ご苦労さまでございました。

（午前10時31分 閉会）